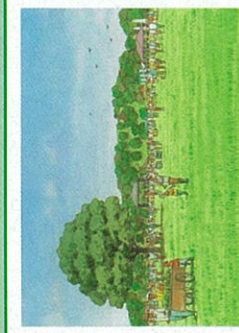


海の森

ゴミと残土の島を、緑あふれる森に生まれ変わらせ
水と緑の回廊に包まれた美しいまち東京を実現する



つどいのくさ原

- ・イベントやくつろぎ空間など、人の利用が中心の草地の広場

ふれあいの林

- ・常緑樹・落葉樹混合の疎林
- ・自然観察、キャンプなど、林間レクリエーション



観察と保全の森

- ・落葉樹・常緑樹混合の森のサンクチュアリ



風の森

- ・台地周囲の斜面地の森
- ・常緑樹を主体とした防風・防潮の森



ふれあいの海辺

- ・磯浜や潮溜まりでの、海辺の生き物の観察、磯遊び
- ・水路に面した海辺のプロムナード
- ・海に頼しおスポーツが楽しめる水路

観察と保全の海辺

- ・台地から池、小川、湿地、汐入の池を経て海へとつながる海辺のサンクチュアリ

海の森の概要

1 経緯

- (1) 平成 17 年 2 月「中央防波堤内側 海の森公園（仮称）構想」東京都港湾審議会答申
- (2) 平成 18 年 12 月「10 年後の東京」発表
～海から緑の風が吹き抜けるまちへ～
- (3) 平成 19 年 2 月「海の森公園」として海上公園計画を告示

2 計画の概要

- (1) 位置：中央防波堤内側の東側部分（都心に海からの緑の風を送る東京港の玄関口）
- (2) 面積：約 88ha（日比谷公園の約 5.5 倍）
- (3) 樹種・樹木数：スダジイ、タブノキ、エノキ等
苗木で 48 万本を植栽
- (4) 概成：平成 28 年（平成 19 年から 30 年間で整備完了予定）

3 公園づくりの特徴

- (1) 都心に向かう風の道をつくる
緑の風をつくりだす起点となる森づくりを行う。
- (2) 新しい資源循環型の森づくり
都内の公園や街路樹の剪定枝葉により堆肥をつくるとともに、浄水場発土や下水汚泥の熱処理加工品も利用して、森の土をつくる。
- (3) 都民、企業、行政が力を合わせて森を育て、守る
協働の一環として、「海の森」募金を行う。
森づくりや森の育成などを都民、企業、NPO 等との協働で進めていく。
都内小学生等によるドングリから育てた苗木を使うとともに、海の森募金で調達した苗木を用いて、植樹する。

協働による森づくり

都民

企業

NPO等

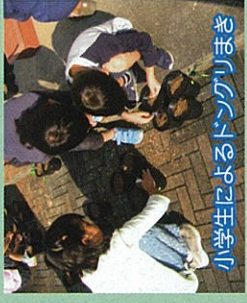
植樹や
青樹に
参加

募金

海の森募金



都内の小学生等
公園ボランティア



小学生によるどんぐりまき

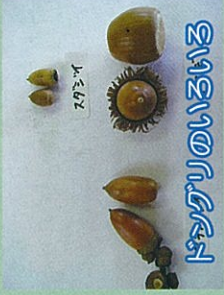
どんぐりからの苗木づくり



タアツキの芽だし

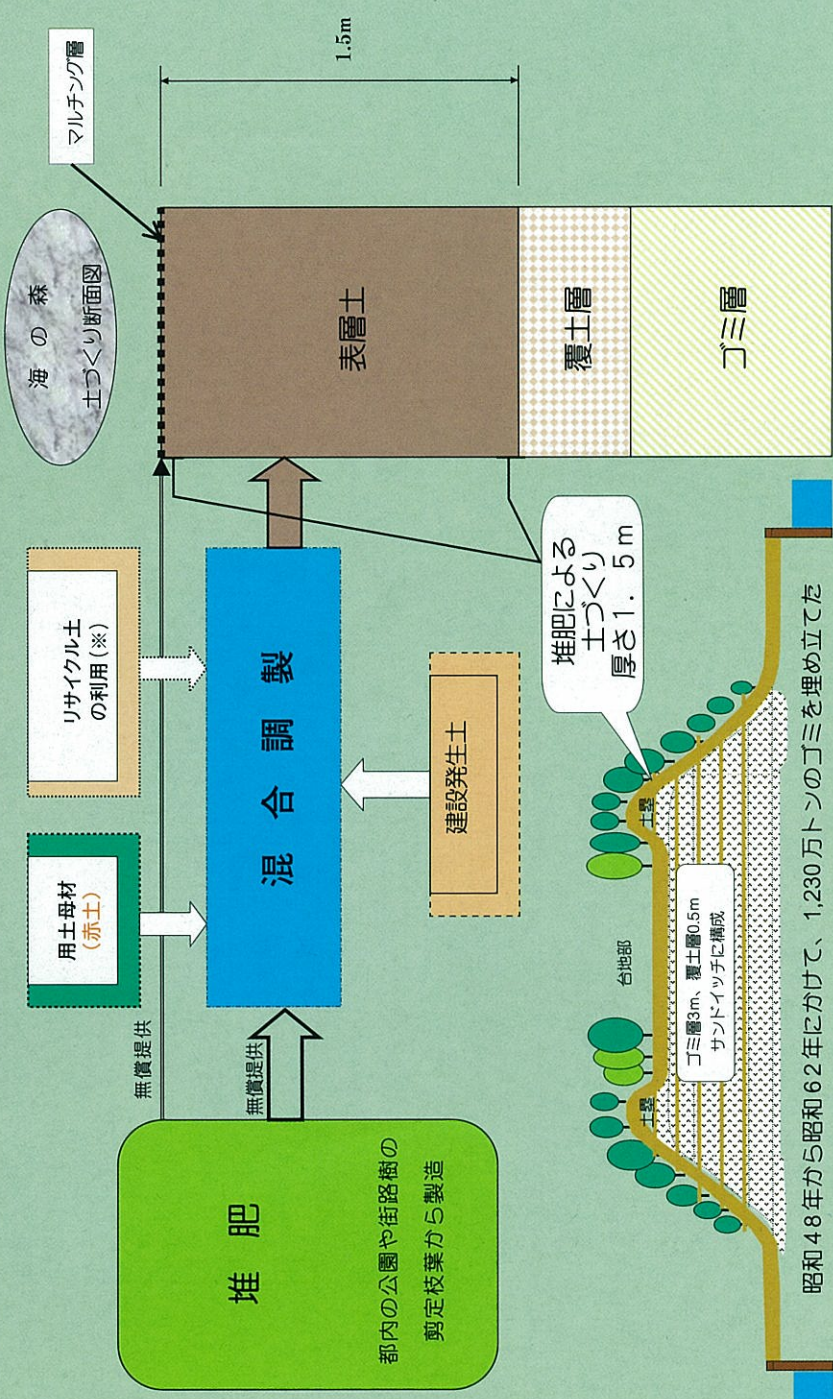


苗木



どんぐりのいろいろ

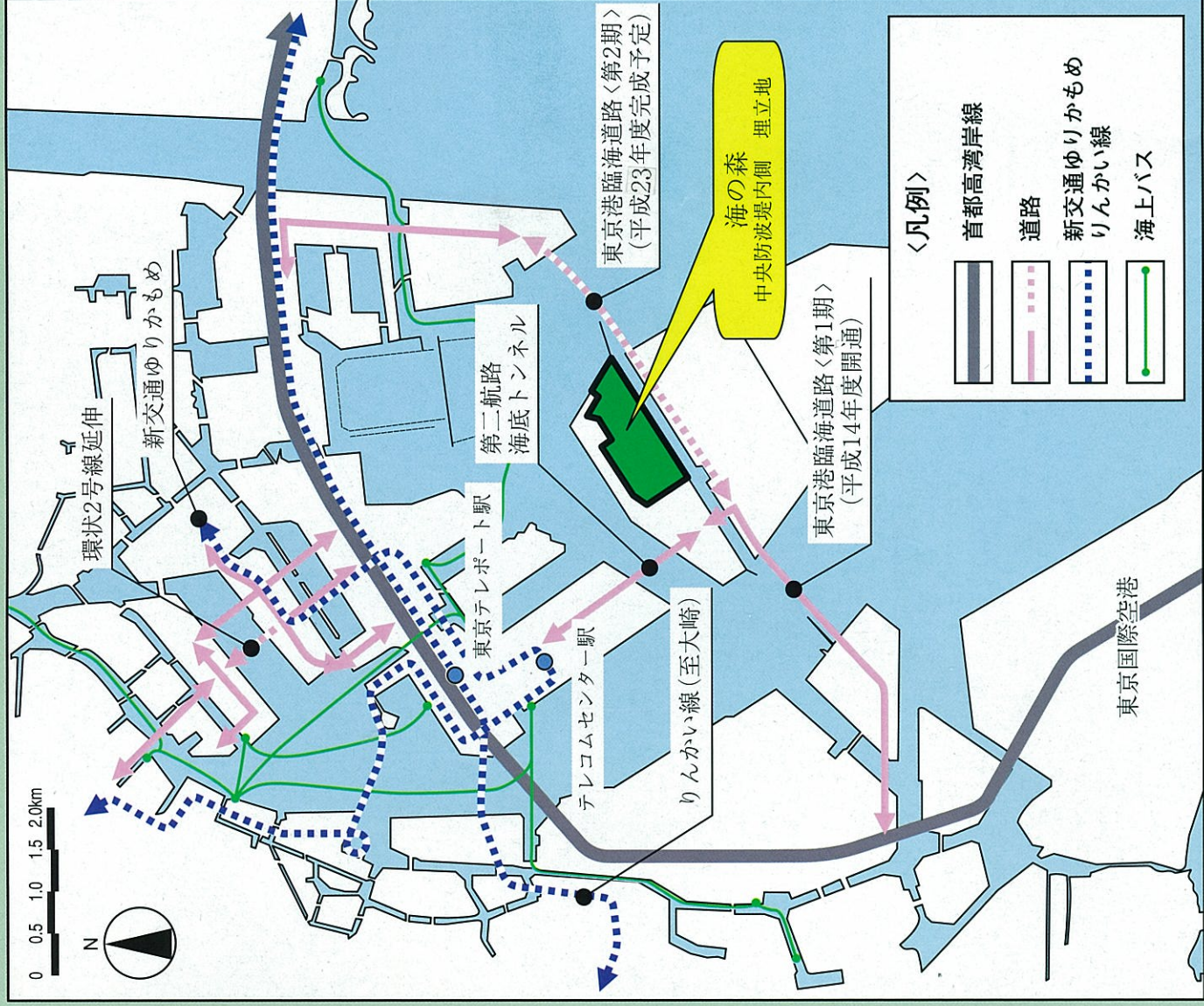
リサイクルから進める土づくり



昭和48年から昭和62年にかけて、1,230万トンのゴミを埋め立てた

※浄水場発生土、下水汚染の熱処理加工品

海の森 位置図



東京都港湾局 臨海開発部 海上公園課
東京都新宿区西新宿2-8-1
電話03-5320-5578

